



岐阜北週報

10月 職業奉仕月間

□ 題 字	岡田 一二三	□ 会 長	岡田 一二三	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	安藤 武司	2014-2015
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	谷田 育子	No.1557
		会報委員長	辻 博	14.10.11発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1556 回 例会 10/1(水) 慶祝行事 クラブフォーラム (4) 担当：職業奉仕委員会	第 1557 回 例会 10/11(土) 氷見 R. C. との合同観月例会 (8日繰り下げ) 11～12日氷見 担当：親睦交流委員会	第 1558 回 例会 10/15(水) 卓話 (1) 「岐阜さくらの会活動報告」 担当：山口、水川

会長挨拶



【職業奉仕】

具体的にはロータリアンは何をすればよいのか。どのような行為が職業奉仕になるのか、とお考えの向きもありましようが、私はロータリアンとして毎週例会に出席されているのは、世間に対して、社会に対して貢献され、不道徳も不正も行っておられないからと考えます。つまり、お一人お一人は意識するとしないとに拘わらず、立派に職業奉仕を日々行っておられると考えるのです。ロータリアン同士、職業支援も必要な気がします。

職業奉仕について書かれている書籍は幾つかあり、自分の職業を生かしての社会への貢献はいろいろありましようが、それも大切なことかも知れませんが、その前にまず優れた職業人、ロータリアンであるべきというのが、私の考えている職業奉仕観なのです。皆様のお仕事は社会

会長挨拶 続き

のニーズがあるから成り立っているのであり、そのニーズに応じて日々ご尽力されておられるのです。それが職業奉仕であり、自らの職業に誇りを持ち、また他の職業にも理解を持つことが出来れば、会員同士の職業交換も必要だと考えます。それでよいのではないのでしょうか。

本日は森本会員の誕生日の新聞をプレゼントします。1941年9月24日(水曜日)当時の東京日日新聞をみますと、

第一次長沙作戦(だいいちじちょうささくせん)とは、日中戦争中の1941年9月18日から10月6日の間に湖南省の長沙周辺で行われた日本陸軍の作戦である。長沙を拠点とする中国軍第9戦区軍に、日本の第11軍が打撃を与えた。当初の作戦呼称は加号作戦(後に長沙作戦と命名)[1]。中国側呼称は第二次長沙戦役(または第二次長沙会戦)[2]。また、日本軍の長沙方面への作戦に対して中国軍は宜昌方面への総反攻を発動、日本軍は苦戦の末撃退した。

ロータリーの歴史はどうでしょうか。

RI13地区の大会が21か国政府を代表する関係者をロンドンに招待して教育文化交流機構について協議する会議を開催、これが後のユネスコとして成立する。

会長挨拶 続き



出席報告

会員数：34名
 出席数：25/34名
 出席率：73.53%
 欠席者：9名（出席免除4名 85.29%）

慶祝行事（敬称略）

1. 会員誕生日のお祝い
 - 10月 6日 川島 明雄 会員
 - 10月13日 片桐 順一郎 会員
2. ご婦人誕生日のお祝い
 - 10月 2日 岡田 広子 様
3. 結婚記念日のお祝い
 - 10月21日 若山 和正 会員
 - 10月22日 波多野 光裕 会員

ニコニコBOX（敬称略）

竹村 博之：昨年3月肩を骨折して以来1年半ぶりにゴルフが出来ました。
 森本 時夫：カゼに気を付けましょう
 片桐順一郎：誕生日を祝っていただきまして
 若山 和正：氷見楽しみにしています。
 長野 鉄司：松野さん9月18、19日ありがとう
 西垣 康紀：国井さん例年の木曾のゴルフ旅行お世話になりました。御嶽山の景色が綺麗でしたが、死者の方ご冥福をお祈りします。
 高橋 正：火山噴火被災に遭われた皆さん元氣を出してください。

委員会・同好会報告事項

親睦交流委員会

・近日クリスマス例会出欠をとります。

新世代育成奉仕委員会

・10月13日 岐阜北R. Cカップバレーボール 5・6年決勝戦
 ・18、19日 地区大会

社会奉仕委員会

10月25日 若松学園バザー
 10月26日 長良川清掃
 10月17日 IGM

クラブフォーラム（4）



【職業奉仕とは何か】

ロータリー運動は倫理運動であることを理解しなければなりません。倫理とは「人が正しく歩むみち」です。非社会的行為をしてはいけない、世のため人のために尽くすと言うのが倫理の教えです。

職業奉仕を理解する上で3つの問題点をまとめました。

（職業奉仕）という言葉、職業すなわち金を儲けることだとあり、（奉仕）世のため人のために尽くすことです。職業を営むことが、世のため人のための奉仕となる、世のため人のためになるような金儲けをしなければならない、自分の職業に強く倫理性を要求しているのです。ロータリーにとって職業倫理は基本的な考え方であり、哲学でもあります。

ロータリーの標語は「I serve」です。奉仕は個人の職業倫理において、奉仕の心を職業社会に実践するものです。（世のため人のために奉仕する心をもって職業を営む事）この言葉こそが職業奉仕にとって一番大事な言葉であります。

職業奉仕と社会奉仕をどのように区別するのか、自分の職業を通して社会に奉仕するのが職業奉仕です。それにより地域社会から、信頼と信用